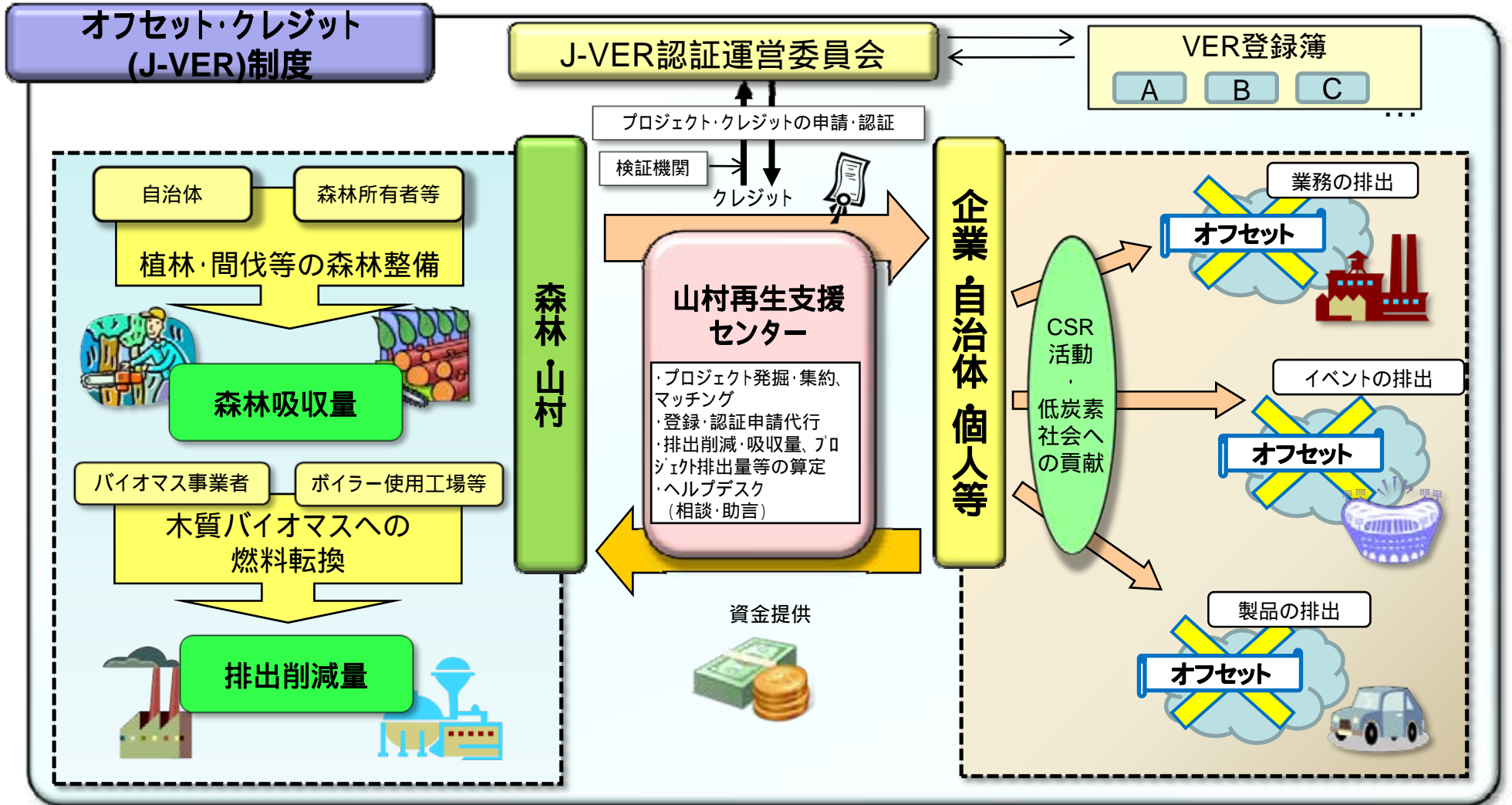


# 林野庁における森林・木質バイオマスを活用したカーボン・オフセット推進の取組

・林野庁では、低炭素社会の実現に向け、森林資源を活用したカーボン・オフセットの取組を推進するため、山村地域における案件の発掘や企業とのマッチング、手続き支援、検証費用の助成等を行う「山村再生支援センター」を平成21年度より創設し、山村地域等におけるクレジット創出を支援。



# J-VERを活用したカーボン・オフセットとグリーンニューディール

(平成21年4月20日 齊藤環境大臣「緑の経済と社会の変革」)

J-VERを用いたカーボン・オフセットの仕組みを活用することで、市民・企業・自治体等がカーボン・オフセットを行うための資金(J-VER購入資金)を、例えば地方の森林整備や地域地場産業等の国内の排出削減・吸収プロジェクト事業者に還流させることができる。

民間の資金等、市場メカニズムを利用して、地球温暖化対策と雇用・経済対策を一体的に推進することができる新しい仕組み。

カーボン・オフセットを行うためのクレジット(J-VER)購入資金が国内林業や地域地場産業等に還流し、地球温暖化対策に加えて雇用拡大効果！

市民・企業・自治体等  
(温室効果ガス排出主体)

クレジット(J-VER)購入資金 ¥

クレジット(J-VER)

埋め合わせ  
(カーボン・オフセット)

J-VER

自らの温室効果ガス排出量のうち  
どうしても削減できない部分

## オフセット・クレジット(J-VER)制度

国内のプロジェクトによる温室効果ガス排出削減・吸収量をカーボン・オフセット用のクレジット(J-VER)として認証

排出削減・吸収プロジェクト事業者

森林バイオマス活用

間伐等の森林管理



再生可能エネルギー活用

農業分野の  
メタン・N2O対策



第三者検証機関

排出削減  
吸収量の検証

クレジット(J-VER)発行

プロジェクト申請

オフセット・クレジット(J-VER)  
認証運営委員会(環境省)

# 環境行政と郵政・通信行政の連携

(平成21年5月18日 齋藤環境大臣・鳩山総務大臣会談)

地球温暖化を乗り越える低炭素社会を構築し、資源の隘路を克服する循環型社会を形成する上で、新しい技術の開発と社会の仕組みの創造、それを支える国民の理解と参加の増進が不可欠。

国民に身近な郵便や通信の世界から、環境保全の先進的・モデル的な取組を開始し、21世紀型の発展につなげていく明るいメッセージを発信したい。

なお、エコポイント事業の実施について、職員の併任により共同推進体制が発足したところ。

## 連携 携帯電話リサイクル回収促進

金、銀やレアメタルの含有量が多い携帯電話の回収・リサイクルについて、6月の環境月間を中心に、両省と通信事業者が協力して回収促進キャンペーンを展開する。キックオフイベントには、国会事情が許せば、齋藤環境大臣と鳩山総務大臣のご出席も検討中。

( 経済産業省とも調整中。 )

## 連携 カーボンオフセット年賀状による国民参加型グリーンニューディール推進

従来の海外CDMクレジットの購入によるオフセットに加え、

国民に分かりやすい国産カーボンクレジット ( J-VER )を購入し、年賀状によって日本国内の低炭素革命も後押しする

さらに「カーボン・オフセット認証ラベル」を活用し、信頼性の高いオフセット取組の浸透に寄与する

ことを連携して検討し、推進する。

## 今後の取組

21世紀の発展につながる有望な分野について、情報交換や研究会を積極的に進め、連携を推進していきたい。

- ・低炭素型のユビキタス社会構築のための共同研究
- ・地域の拠点としての郵便局を活用した環境保全の取組 等

# カーボン・オフセットに関する予算・スケジュール

## カーボン・オフセットの普及促進・信頼性確保

平成21年度本予算(1.5億円の一部)

「カーボン・オフセット推進事業」

- ・カーボン・オフセットフォーラム(J-COF)の設置・相談支援
- ・カーボン・オフセットの普及啓発  
(6月エコライフフェア、7月グリーンEXPOなど)
- ・カーボン・オフセット関連ガイドライン類の改定
- ・カーボン・オフセットモデル事業の実施(6月目途募集開始)
- ・日英カーボン・オフセット協定に基づくワークショップの開催

## オフセット・クレジット(J-VER)の利用促進

平成20年度二次補正(1.2億円)

「森林起源二酸化炭素排出削減・吸収量認証推進事業」

- ・J-VER制度の全国説明会(6月)・普及啓発
- ・J-VER制度活用事業者に対する支援(6月以降順次)  
(申請書・モニタリング報告書作成、受検)

平成21年度本予算(1.5億円の一部)

「カーボン・オフセット推進事業」

- ・J-VER認証運営委員会・方法論パネルの運営
- ・J-VER登録簿の管理
- ・J-VER創出モデル事業の実施(7月目途募集開始)、  
認証基準等の作成
- ・プログラム認証基準の作成(秋頃目途)

平成21年度一次補正(2.1億円)

「二酸化炭素等排出削減・吸収量認証制度検証等効率化事業」

- ・地域における検証等を行う人材の育成用の研修等  
(夏以降)

このほか、林野庁、総務省等においても支援用予算を確保。

# オフセット・クレジット(J-VER)制度に関する当面の課題について

## 対象プロジェクトの拡大

- オフセット・クレジット(J-VER)創出モデル事業における採択案件(木質バイオマス、廃食用油由来BDF、小水力発電、下水汚泥由来バイオマス)を基にした新規認証基準・方法論等について、パブリック・コメントを踏まえてJ-VER認証運営委員会にて採択後、申請受付を開始(夏以降順次)。
- 「新エネルギー対策の推進(グリーン電力証書)」の取扱い(プログラム認証基準含む)について、「カーボン・オフセットに用いられるVER(Verified Emission Reduction)に関する検討会」(VER検討会)において検討中。
- エネルギー起源CO2を対象としたJ-VER創出モデル事業を再度募集するほか、廃棄物分野、農業分野(メタン・N2O)、代替フロン等3ガスを対象としたプロジェクトの認証基準・方法論等についても検討。

## 地域におけるプロジェクト案件の発掘促進

- 地域におけるプロジェクト審査・認証体制整備に資する「プログラム認証基準」案について検討中。
- 地域において第三者検証等を行う人材を育成するための研修等を実施。

## 他制度との関係等について

- ダブルカウント防止の考え方を整理。(温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度との連携を含む)
- オフセット・クレジット(J-VER)の売買・無効化に関する会計・税務処理を整理。

# 我が国におけるカーボン・オフセットのあり方について(指針)

- ・2007年9月からカーボン・オフセットのあり方に関する検討会を開催(全5回)
- ・国内外の事例調査や各国政府の動向等を踏まえて、我が国におけるカーボン・オフセットのあり方に関する指針を明確化することに。
- ・指針の内容についての意見募集を経て、**2008年2月7日に「我が国におけるカーボン・オフセットのあり方について(指針)」を公表**

## < 指針の主な内容 >

### ●カーボン・オフセットの基本的要素と類型を規定。

市場を通じて広く第三者に流通するクレジットを活用したカーボン・オフセット

- 商品使用・サービス利用オフセット
- 会議・イベント開催オフセット
- 自己活動オフセット

市場を通さずに特定者間のみで実施されるカーボン・オフセット

- 温室効果ガスの排出削減努力の実施、カーボン・オフセットの対象とする活動からの排出量の算定方法、カーボン・オフセットに用いられる排出削減・吸収量(クレジット)、オフセットの手續、カーボン・オフセットの実施に際しての透明性の確保、カーボン・オフセットに関する第三者認証とラベリングについての基本的考え方を提示。
- 政府、自治体等によるカーボン・オフセットの取組に対する支援のあり方についての方向性を提示。
- カーボン・オフセットの意義・効果(既述)や課題についても明確化。

# カーボン・オフセットフォーラム (J-COF) について

カーボン・オフセットフォーラム

J-cof.org

**2008年4月設立、**

**チーフアドバイザー：末吉 竹二郎 (国連環境計画・金融イニシアティブ 特別顧問)**

**事務局：海外環境協力センター (OECC)**

低炭素社会の構築に向けたカーボン・オフセットに関する考え方の普及  
世界・日本におけるカーボン・オフセットに関する事例・情報の提供  
課題別ワークショップ、オープン・セミナー等の開催運営 (これまで5回開催)  
カーボン・オフセットに関する相談支援サービス (ヘルプデスク) の提供

HP: <http://www.j-cof.org/>

TEL:03-5776-0402

# 平成20年度カーボン・オフセットモデル事業 採択事業(9件)

平成21年3月に平成20年度モデル事業報告会を実施。 [http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon\\_offset/model\\_p-m/01.html](http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon_offset/model_p-m/01.html)  
平成21年度モデル事業については、6/16に事前説明会を開催予定

## 商品使用・サービス利用オフセット(1件)

- ◆ ジーコンシャス株式会社 …食品メーカー(製パン・製菓メーカーを含む。)の製造時のCO2排出量をスーパー等の店頭で見える化した上で、CO2排出量をCERでオフセット。

## 会議・イベント開催オフセット(2件)

- ◆ 特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所 …2009年FISフリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会における会場、宿泊会場等のCO2排出量を近隣におけるグリーン電力等でオフセット。
- ◆ 財団法人ひょうご環境創造協会 …スポーツ施設や文化施設等と連携し、イベント開催時の施設からのCO2排出量について、入場料に上乗せしたオフセット代金によって太陽光発電を設置し、その発電分VERでオフセット。

## 自己活動オフセット(2件)

- ◆ 株式会社リサイクルワン …株式会社シー・アイ・シーが行っている家電リサイクル4品目の収運業務(大手家電量販店から指定引取場所に廃棄家電を引き渡す運搬業務)におけるCO2排出量をVERまたはCERでオフセット。
- ◆ 株式会社日立製作所 …使用電力最適化システムにより店舗施設の使用電力を各種制御方式を用いて電力使用量をモニタリングし、高効率省エネ機器と本システムを導入しても削減し得ないCO2排出量をCERでオフセット。

## 特定者間型オフセット(4件)

- ◆ 旭化成ホームズ株式会社 …住宅の製造・建設時に生じるCO2排出量を、居住者の環境行動を促す「Ecoゾウさんclub」というソフトウェアを活用して削減できた排出量でオフセットするもの。
- ◆ 特定非営利活動法人KES環境機構 …KES認証取得(環境マネジメントシステムに基づく環境改善活動に取り組む)企業において、CO2排出量をモニタリングするとともに、削減困難なCO2排出量を太陽光発電によるVERでオフセット。
- ◆ 新宿区 …平成20年2月に締結した伊那市との地球環境保全のための連携に関する協定に基づき、新宿区内のCO2排出量を伊那市内における森林保全活動により増加したCO2吸収量で埋め合わせ。
- ◆ 有限責任中間法人 シーニックバイウェイ支援センター …ドライブ観光客等が自らの排出するCO2に対し費用を負担し、地域活動団体が代行植樹を行うカーボン・オフセット事業を申請者が認定・運営。



# カーボン・オフセットの取組についての信頼性構築に向けた 具体的取組(環境省及びJ-COF)

「我が国におけるカーボン・オフセットのあり方について(指針)」(2008年2月)

随時更新予定

- カーボン・オフセットに関するFAQ (2008年9月)  
…カーボン・オフセットについてよくある質問とそれに対する回答をまとめたもの。
- カーボン・オフセットの対象活動から生じるGHG排出量の算定方法ガイドライン (2008年10月)  
…カーボン・オフセットの対象活動から生じる温室効果ガスの排出量の算定方法について一定のかつ統一された考え方を示すもの。
- カーボン・オフセットの取組に係る信頼性構築のための情報提供ガイドライン (2008年10月)  
…カーボン・オフセットの取組を行う者が、カーボン・オフセットを行う際に留意すべき点や明示すべき情報等を示すもの。

カーボン・オフセットに対する第三者認証機関による認証基準 (2009年3月)

- ・カーボン・オフセットの取組に対する認識の向上、公正な市場形成(消費者保護や利害関係者に対するアピールにおける信頼性付与)等の観点から、環境省の指針に基づくカーボン・オフセットの取組に対して認証し、認証ラベルを付与する基準を策定。

# カーボン・オフセットの取組に対する第三者認証機関 による認証基準 (Ver.1.0)

**目的**  
カーボン・オフセットの取組に対する認識の向上、取組の促進、公正な市場形成

## 認証要件

### 排出量の認識

算定方法ガイドラインやフットプリント等の算定方法、各種データの記録 等

### 削減努力の実施

温対法等の法令遵守、何らかの削減取組 等

### オフセットに用いるクレジット調達等

クレジット種類(CER、J-VER、JPA等)、調達に係る契約の締結 等

### 排出量の埋め合わせ

オフセット量との整合性、無効化処理 等

### 情報提供

情報提供ガイドライン 等



## ラベリングの実施

第三者認証機関による認証を受けた取組に対してはラベリングを実施。



# カーボン・オフセット認証制度 (概要)

## (目的)

適切なカーボン・オフセットの取組に対してカーボン・オフセット認証ラベルの使用を認めるとともに、オフセット・プロバイダーの活用の透明性を確保することにより、信頼性の高いカーボン・オフセットの取組の普及を図り、国民による温室効果ガス排出量の認識及び一層の削減努力を促進する。

## (内容)

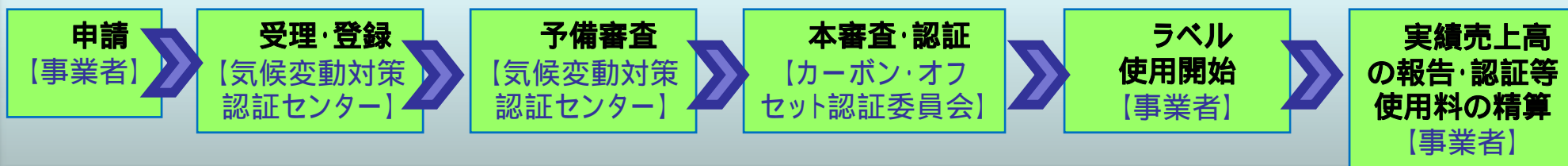
次の2つの制度で構成され、気候変動対策認証センター(社団法人海外環境協力センター内)が運営する  
第三者認証制度(ラベリング): 環境省が策定した「カーボン・オフセットの取組に対する第三者認証(ラベリング)基準」に基づき、個別のカーボン・オフセットの取組を認証する制度

あんしんプロバイダー制度: オフセットプロバイダーの業務を確認し、その結果を公開する制度

(気候変動対策認証センター(4CJ)webサイト) <http://www.4cj.org/>

オフセット・プロバイダー: 市民、企業等がカーボン・オフセットを実施する際に必要なクレジットの提供及びカーボン・オフセットの取組を支援又は取組の一部を実施するサービスを行う事業者をいう。

## 第三者認証制度(ラベリング)の認証プロセス



## カーボン・オフセット認証制度の特徴(透明性と信頼性の確保)

### 制度運営における三権分立

制度設計者(運営委員会)と制度執行者(認証委員会)を分離。  
苦情処理・公平性・倫理判定・利害抵触等に対する監視、認証後案件のトレースは監督委員会が担う。

### サブスキームを用いた信頼性補強の仕組み

あんしんプロバイダー制度により  
信頼性向上に努めているオフセット・プロバイダーに有利な仕組みを構築。

# カーボン・オフセット認証制度 (運営体制)

オフセットプロバイダー

事業者

## カーボン・オフセット認証制度運営委員会

- ・認証制度の運営
- ・制度文書管理やあんしんプロバイダー制度参加者情報や認証済案件の情報提供などの情報管理。

新見育文(座長) 明治大学法学部	平野 学 東京電力(株)
菅美千世 (社)全国消費生活相談協会	藤倉まなみ 慶応義塾大学
高橋康夫 環境省	加藤 真 (社)海外環境協力センター
野崎麻子 監査法人トーマツ	

## カーボン・オフセット 認証制度監督委員会

- ・認証制度全体の監理
- ・利害関係者からの苦情受付
- ・運営委員会・認証委員会における制度運営に関する客観性・公平性等に関する判定
- ・認証案件やあんしんプロバイダー制度申請事業者等による不正使用等の調査結果の分析

勧告

勧告

## 気候変動対策認証センター(4CJ)

- ・本制度の事務局として、
  - ・事業者の申請受付や登録を行いラベルの付与を行う。
  - ・オフセット・プロバイダーの制度参加申請を受け付け業務執行状況の確認を行う。
- (社)海外環境協力センター内に設置。

申請受付や制度文書については、下記のwebサイト参照  
(4CJ webサイト) <http://www.4cj.org/>

## カーボン・オフセット 認証制度認証委員会

- ・個別のカーボン・オフセットの取組の第三者認証における申請案件に対する本審査、認証
- ・申請案件に対するカーボン・オフセットラベルの付与、発行の承認
- ・あんしんプロバイダー制度に基づく申請者に対する情報公開内容の確認

あんしんプロバイダー制度申請

クレジット調達・  
無効化代行  
サービス

第三者認証申請

認証・ラベル付与

# カーボン・オフセット推進ネットワーク(略称:CO-Net)について

## (CO-Netとは?)

カーボン・オフセットを日本の低炭素社会への移行を活性化する有効な手段の一つとして認識し、カーボン・オフセットに関連する活動の持続的かつ発展的な普及推進を図る、**事業者を中心としたネットワーク。**

### 理事会社(五十音順)

- ◆旭化成株式会社
- ◆イオンリテール株式会社
- ◆オリックス株式会社
- ◆鹿島建設株式会社
- ◆鈴与ホールディングス株式会社
- ◆全日本空輸株式会社
- ◆ソニー株式会社
- ◆株式会社損害保険ジャパン株式会社電通

- 東京電力株式会社
- DOWAホールディングス株式会社
- 丸紅株式会社
- 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 郵便事業株式会社

### 監事会社(五十音順)

- 株式会社トーマツ審査評価機構
- 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

## (CO-Netの主な事業・活動内容) 4月8日設立、5月25日第1回委員会開催

- ・各制度との連携やカーボン・オフセット活用拡大に向けた提言
- ・カーボン・オフセット等の取組に関する需要喚起と市場形成
- ・カーボン・オフセット商品・サービスの開発及び信頼性向上の支援
- ・信頼性の高い炭素クレジットを生み出すGHG排出削減・吸収プロジェクトの創出・活用支援

## (問い合わせ先)

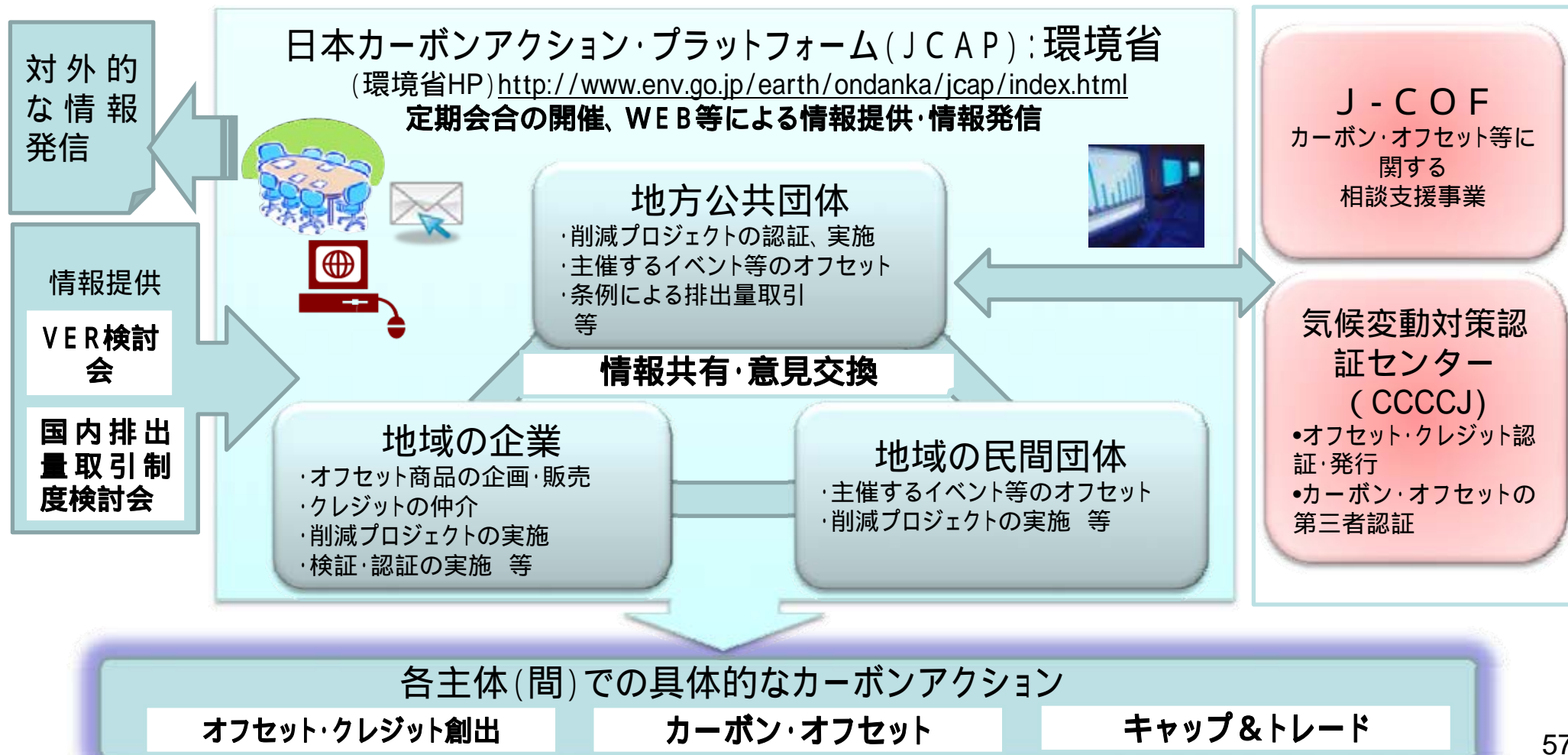
- ・カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局((社)海外環境協力センター内)
- ・TEL:03-5472-0144 e-mail: [info@carbonoffset-network.jp](mailto:info@carbonoffset-network.jp)
- ・Webサイト: <http://www.carbonoffset-network.jp/>

# 日本カーボンアクション・プラットフォーム(JCAP)について

市場メカニズムを活用した各種イニシアティブについての情報共有、意見交換を行うとともに、具体的な取組における連携・協力を模索する場。

具体的には、定期会合を開催(平成20年7月に第1回会合を開催)するとともに、専用WEBサイトやメールマガジン等による情報提供・情報発信を行う。

JCAPを契機に、各主体(間)の具体的なカーボンアクションの円滑な実現につなげていく。その際、J-COF等と有機的に連携。



# オフセット・クレジット(J-VER)制度における暫定検証機関

別紙

J-VER制度では、ISO14065認定事業が本格化するまでの間、京都メカニズムにおける指定運営組織(DOE)又は認定独立組織(AIE)(森林吸収源については、Indicative Letterを受領している組織)として登録されており、かつ、ISO14065認定取得の意思を有する証拠が確認された組織を暫定的な検証機関としています。

平成21年6月1日現在

検証機関(五十音順)	セクトラルスコープ []内は、J-VERポジティブリスト・方法論番号	
	エネルギー [0001]	森林吸収源 [0002・0003]
SGSジャパン(株)		
(株)JACO CDM		
デット・ノルスケ・ベリタス・エーエス (DNV)		
テュフ・ズード・ジャパン(株)		
テュフ・ラインランド・ジャパン(株)		
(株)トーマツ審査評価機構 (TECO)		-
(社)日本能率協会 (JMA)		
(財)日本品質保証機構 (JQA)		
(社)日本プラント協会 (JCI)		-
ビューローベリタスジャパン(株)(BV)		
LRQAジャパン		-